

2023年9月版

InfoBarrier V11が 業務を革新的にサポート！ シーン制御編

富士通株式会社

FUJITSU

サーバ/
クライアント
型

操作制限機能

誤った操作や
入力間違いを事前に防止
シーン制御

強化

Control

操作ログ管理機能

操作ログ収集で
業務実態を管理

Logger

ユーザビリティ分析支援機能

システム利用時の
困りごとやボトルネックを
把握し定着化具合を指標化

新機能

Analysis

操作支援(ガイダンス)機能

手順や入力ルールを
わかりやすく表示

新機能

Guidance

資産管理機能

PC内の資産情報を
適切に管理

Management

スタンドアロン環境対応機能

ネットワークに繋がらない端末でも改善・評価・定着化を実現

新機能

強化

Standalone

スタンド
アロン型

対象製品名

【ご参考】 InfoBarrier V11の製品体系

前バージョンV10製品に該当するV11製品は以下になります

【V10(旧バージョン)】

InfoBarrier V10

InfoBarrier V10 Plus ※

InfoBarrier V10 Plus Standalone



【V11(新バージョン)】

InfoBarrier V11 Control

強化

InfoBarrier V11 Control ※

InfoBarrier V11 Logger ※

InfoBarrier V11 Management ※

InfoBarrier V11 Guidance

新機能

InfoBarrier V11 Analysis ※

新機能

InfoBarrier V11 Standalone

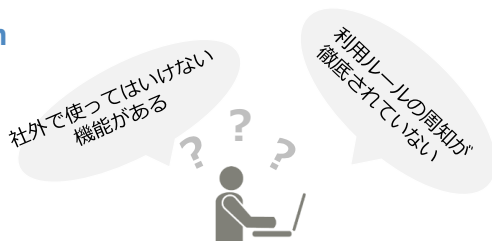
強化

※サーバ製品必須

操作制限内容の自動切換（シーン制御）

- 利用状況(シーン)に応じて**操作制限内容を自動的に切り替える**ことで利便性を向上

Problem



利用状況に応じて設定変更するのが手間

Solution | シーン（業務や場所など）に連動した自動切換え

【新機能】

- 利用シーンに応じた制御内容を設定
 - 社外で利用できないアプリや機能を設定
 - 特定の条件に応じて制御内容が自動適用
- ※特定条件例：接続ネットワーク、起動アプリ、接続媒体等

利用イメージ

業務での自動切換

【特定業務】

必要なアプリのみアクセス可



業務に紐づいた
アプリのみ
起動可能

【汎用業務】

不必要なアプリへの
アクセス不可



場所による自動切換

【社内】

制限なし



【自宅・その他】

制限あり

社外で利用できる
アプリのみ表示
& 起動可能






case study : 具体的な利用シーン①

* 制限内容は様々な組み合わせが可能です

職種		制限シーン（業務）	自動制限内容
外出が多い職種	営業（MR含） CE（現場） など	営業（MR含む） <ul style="list-style-type: none"> ・お客様への訪問：表敬、商談 CE（現場作業員） <ul style="list-style-type: none"> ・工事進捗 ・機器修理／定期保守メンテナンス 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務アプリとファイルの指定 ・持ち出し未許可ファイルへのアクセス ・未許可アクセスポイントへの接続
機密情報へアクセスすることが多い職種	人事・総務	個人情報をはじめとする 人事データベースへのアクセス	<ul style="list-style-type: none"> ・外部媒体へのアクセスと利用 ・ファイルのコピー／複製 ・スクリーンショットとカメラ起動
	製品企画 開発・SE	<ul style="list-style-type: none"> ・開発端末の起動 ・開発／設計ファイルへのアクセス 	<ul style="list-style-type: none"> ・社外未許可サイトへのアクセス ・設計関連ファイルへのアクセス ・ファイルのコピー／複製
数多くの業務アプリを使用する職種	会計・税務	経理／会計アプリの起動 <ul style="list-style-type: none"> - 決算 - 銀行取引、請求 - 給与賞与計算、年末調整他 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数アプリの同時起動 ・経理／会計関連ファイルの自動保存 ・ログイン時の強制認証

case study : 具体的な利用シーン②

* 制限内容は様々な組み合わせが可能です

職種		制限シーン (場所)	自動制限内容
外出が多い職種	営業 (MR含) CE (現場) など	<ul style="list-style-type: none"> ・他拠点事業所 ・自宅 ・その他 (公共スペースなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ・他拠点事業所 : 自動切換えなし 
機密情報へアクセスすることが多い職種	人事・総務	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅 ・その他 (公共スペースなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅 : PC起動の二段階認証 社内イントラへの接続 特定アプリへの接続 
	製品企画 開発・SE	<ul style="list-style-type: none"> ・他拠点事業所 ・自宅 ・その他 (公共スペースなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ・その他 : PC起動の個人認証 未許可アクセスポイントへの接続 <ul style="list-style-type: none"> ・モバイルルータ ・スマートフォンテザリング ・自宅Wi-Fi ・ゲストWi-Fi ・有料/無料Wi-Fi  
数多くの業務アプリを使用する職種	会計・税務	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅 	

- 製品の最新情報については、HPをご確認ください



- 製品に関するお問い合わせ・製品購入および技術サポート窓口

富士通株式会社

スマートワークソリューション事業部 ソリューション部

contact-pkg-biz@cs.jp.fujitsu.com

(ご参考)

Fujitsu デジタルアダプション InfoBarrier V11

製品体系 / 機能一覧

InfoBarrier V11 製品体系

InfoBarrier V11では、お客様のご要件や課題に合わせて機能を選択。段階的にレベルアップして頂けます

システム構成	製品名	機能
サーバ/ クライアント型	InfoBarrier V11 Control	操作制御機能 クライアント端末の操作制限を行います。デスクトップ、アプリケーション、ドライブ制御等、各クライアント端末の制御を行います。Windowsポリシーによる制御も含まれます。 また、ファイル暗号化設定、特定外部媒体制御機能（クライアント・サーバ運用）、シーン制御機能も含まれます。
	InfoBarrier V11 Logger	操作ログ管理機能 クライアント端末の操作ログ収集を行います。 また、リアルタイムアラートも含まれます。
	InfoBarrier V11 Management	資産管理機能 クライアント端末の資産管理機能を行います。 また、遠隔サポートも含まれます。
	InfoBarrier V11 Analysis	ユーザビリティ分析支援機能 クライアント端末のユーザビリティ分析支援を行います。 設定した業務をユーザが行った際のマウス・キーボードの操作回数、クライアント端末のリソース情報などを取得します。
	InfoBarrier V11 Guidance	操作支援(ガイダンス)機能 端末で行うファイル暗号化設定に操作ガイダンスを追加します。 InfoBarrierV11 Control Clientを併用すると特定外部媒体制御にもガイダンスを追加します。 InfoBarrier以外のアプリケーションでガイダンスをしたい場合には、カスタマイズ（個別見積）にて対応となります。
スタンドアロン型	InfoBarrier V11 Standalone	スタンドアロン型 Control、Logger、Analysis の機能をスタンドアロンで利用可能にした製品です。特定外部媒体制御機能は、スタンドアロン運用で可能な画面となります。ログはサーバには送られず自端末に蓄積されます。 ※ 各端末単位での改善・評価・最適化となります。

InfoBarrier V11機能一覧

各製品の機能※1と必要ライセンスにつきましては、以下となります。

製品	必要 ライセンス	機能									
		操作制限	シーン 制御	特定外部媒体 制御	操作ログ 収集	リアルタイム アラート	資産管理	遠隔 サポート	ユーザビリティ 分析支援	操作 ガイダンス	ポリシー 配信
Control	クライアント	●	●	●※3							
	サーバ			●							●
Logger ※2	クライアント				●	●					
	サーバ				●	●					●
Management ※2	クライアント						●	●			
	サーバ						●	●			●
Analysis ※2	クライアント								●		
	サーバ								●		●
Guidance	クライアント									●	
	サーバ										●
Standalone	クライアント	●	●	●※4	●				●	●	

※1 機能適用の対象は、クライアントのみとなります。サーバへの機能適用は、対象外となります。

※2 該当機能はクライアント単体での利用はできません。利用するにはサーバを導入する必要があります。

※3 ワークフロー(WF)機能はクライアント単体では利用できません。利用するにはサーバを導入する必要があります。

※4 指定外部媒体以外の利用禁止が可能。ワークフロー(WF)機能はありません。

Thank you

